

よこはまユースレター

発行／公益財団法人よこはまユース
tel.045-662-3716 fax.045-662-7645
URL <https://yokohama-youth.jp/>
Eメール soumu@yokohama-youth.jp

楽しみながらヨコハマの青少年育成を…

第64回爆笑！濱っ子寄席 を開催しました！

11月14日、第64回爆笑！濱っ子寄席を関内ホール大ホールで開催しました。濱っ子寄席は、1968年、横浜青年会議所が主催する「JC寄席」として始まり、「楽しみながらヨコハマの青少年育成を」を合言葉に、出演者や協賛企業・団体など、多くの皆様に支えられて、今年で第64回を迎えました。

客席からどっと笑い声が聞こえたり、会場全体でリズムに合わせて手拍子をしたりと大盛り上がりでした。終演後には、お客様から「とても楽しかった」「大笑いした」とのお声をいただきました。

事業の収益や募金は当法人が行う青少年育成事業に大切にに使わせていただいています。日頃、青少年に関わる機会の少ない方も本事業を通して楽しみながら青少年育成にご協力いただけます。

次回の皆様のご来場をお待ちしております！

■出演者（出演順）

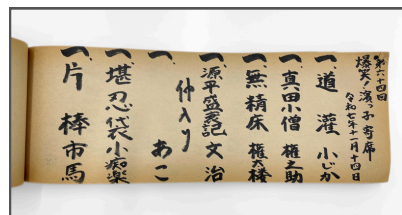
柳家小じか、柳家権之助、柳家権太楼、桂文治、遠峰あこ、柳亭小痴楽
柳亭市馬

■協賛企業・団体：45社・団体

演目が記録された楽屋帳▶



▲柳家権太楼師匠



キッズクラブ

より良い運営を目指します！～キッズクラブスタッフ交流会～



運営上の工夫や困りごと等の情報交換を目的に、オンラインや現場見学を通じたキッズクラブのスタッフ交流会を行っています。

キッズクラブと言っても、利用児童数、部屋の広さや数、設置場所など、様々ではなく、それが各クラブの特色にもなっています。スタッフは普段、自分の所属クラブ以外のスタッフと話したり、活動の様子を目にする機会がないため、見学した他クラブとの違いに驚きつつ、お互い参考にできることはないか熱心に話を聞き合っていました。実施後は「運営の参考にしたい」という意見や「場所に窮屈さを感じている点は同じだった」と悩みを共有できた安堵の声も聞かれました。中には「(自分たちのクラブは)のびのびしている」との感想もあり、それぞれの良さに気づく機会にもなったようです。

事業係

横浜の未来を私たちの手で！～ヨコハマゼロワンプロジェクト～

来年開催される「GREEN×EXPO2027」を一つのマイルストーンとし「横浜の未来」や「より良いまちづくり」について中高生を中心とした青少年が主体的に考える新たなプロジェクトがスタートしました。当法人は、3団体で構成される「大人のサポートチーム」の一員として、本プロジェクトを応援しています。

11月8日に行われた第1回会議には約20人が参加し、「広報」「企画」など今後の活動に向けた役割分担について活発な意見交換が行われました。

このプロジェクトでは、青少年の主体的な関わりを大切にして会議のテーマ設定から資料作成、進行まで全てを青少年自身が進めています。若い世代からどんな「未来へのアイデア」が生まれるのか、これからの展開がとても楽しみです。



10月4日、専門研修「こどもの心の声を聴く アドボカシーを考える講座～こどものために から こどもとともに～」を実施しました。定員を超える申込みがあり、こどもの意見を尊重する考え方「こどもアドボカシー」が、こども・若者に関わる活動をしている方にとって関心の高いテーマであることが伺えました。

研修では「アドボカシー」とはどういった意味なのか、なぜこれまでこどもたちの声が聴かれてこなかったのか、こどものセルフアドボカシーを目指してできることは何かについて、それぞれの立場から考えました。

参加者からは「こどもや保護者、地域に自分たちの価値観を伝えることばかり考えていたが『こどもとともに』価値を創造するように考え方をシフトしていきたい」「講師の『聴くことはスキルというよりあり方』という言葉に勇気づけられた」といった感想が寄せられました。



この度、当法人は「第32回横浜環境活動賞実践賞」を受賞しました。

研修センターで長年続けている野島海岸の清掃活動や干潟観察などの野島海浜を活用した自然体験プログラム、砂浜に打ち上げられたプラスチック等の海洋ゴミを活用した環境教育プログラム等の取組みが評価され受賞につながりました。

日頃から研修センターの様々な活動にご協力いただいている関係団体の皆様に感謝申し上げますとともに、この受賞を機に、今以上に横浜の豊かな自然に親しむ体験の機会や環境保全について考える機会を届けていきます。

研修センターをご利用の際には、是非、自然体験プログラムや環境教育プログラムを取り入れていただければ幸いです。

さくらリビングでは、地域や行政、関係機関の方々にご協力いただき、施設の運営状況や活動、地域の取り組みについて情報共有する「運営連絡会」を年に2回開催しています。さくらリビングで活動している青少年委員も運営連絡会のメンバーとして参加しています。

12月の運営連絡会では、上半期の事業報告のほか、青少年委員がフリースペースを利用する青少年を対象に実施したアンケートの結果について報告しました。利用目的については、友達と過ごすため、勉強・作業のために利用しているとの回答が多かったです。運営連絡会のメンバーからは発表に対する助言のほか、さくらリビングのような居場所があることの重要性についての意見がありました。

いただいた貴重なご意見を活かし、さくらリビングを拠点とした青少年と地域の顔の見える関係づくりに引き続き取り組んでいきます。



●ご寄附いただきありがとうございます（2025年7月1日～2025年12月31日までの寄附金）

○ユース賛助会費 76件 546,000円 ○一般寄附金 21件 170,696円

〔寄附金協力者（五十音順・敬称略）〕

【団体名】

(株)荒井屋/(株)大塚商会/神奈川県青少年指導員協議会/川本工業(株)協栄会/京浜サービス(株)/コーロ・アンダンテ
第一カーボン(株)/(有)武/鶴見区子ども育成会連絡協議会/西区子ども会育成連絡協議会/西区ジュニアリーダーズクラブ/野島町内会
野島deコグニサイズ/馬車道商店街協同組合/ヒデ・シン/横浜市子ども会連絡協議会/横浜商工会議所/横浜信用金庫
(株)横浜スタジアム/特定非営利活動法人よこはまチャイルドライン/横浜野球連盟/(有)横浜ランパート協会

【個人名】

青山幸一/荒巻喜代子/飯塚道子/池田加津男/池田ふみ子/石塚昇/犬塚善一朗/岩崎淳/片岡喜久江/橘川和夫/工藤春治/雲井耀一
齋田順一/酒井勝己/佐藤博/佐藤雅亮/椎野雅子/重森幹子/篠崎浩子/清水桂子/須藤守之/関野修一/竹内利恵/武久美子/俵節子
坪内一/出口晴基/中村輝次/中山里美/南部信治/野並直文/橋本康正/濱倉公子/日比野政芳/古澤竜夫/松井孝子/松井祐次郎/眞鍋明文
光田清隆/三橋ツネ/宮谷敦子

最近朝晩ものすごく冷えますので生姜を食べるようにしています。鍋やみそ汁にすりおろした生姜を入れると食後ぽかぽかと身体が温まります。血流をよくして体温を上げる作用は「ジンゲロール」という生の生姜の辛み成分によるものだそうですが、加熱・乾燥させると「ショウガオール」と名を変えるそうです。生姜とともに寒い冬を乗り切りたいと思います。（き）